

平成30年度富士見市介護保険事業推進委員会 第3回会議（議事録要旨）

開催日時 平成30年12月20日（木）13時30分～15時00分
開催場所 富士見市役所 分館会議室
出席委員 奥村敬一 日鼻靖 武長正洋 前田秀子 渡井善治 寺内克行 古内美和
久米原明彦 本多邦男 佐々木秀一 井山順子
欠席委員 鳥羽美香 渋谷善行
事務局職員 健康福祉部長 大森 高齢者福祉課長 宮嶋 副課長 長谷部・新山
係長 飯塚・神谷 担当 内田
健康増進センター所長 望月 係長 平

1 開会

- ・委員長より開会のあいさつ

2 議事

(1) 認知症初期集中支援チームの活動状況について

- ・事務局より資料1に沿って説明。

<質 疑>

委 員：認知症初期集中支援チームの事業名は。

事務局：認知症初期集中支援推進事業という事業である。

委 員：資料1の2ページ目の人数は「認知症が疑われる方かつ支援が必要と思われる方」とは、認知症の予備軍の方と考えてよいのか。そういう方をどう支援しているのか。

事務局：貴見のとおりであり、認知症が疑われる方である。高齢者福祉課で受理した相談の中からリストアップしており、定期的に支援後の経過も確認しながら、チーム支援に繋がったケースもある。関わりが難しいなどの支援困難ケースについては、ケースごとに関係機関と連携して対応を検討しながら、出来るだけ早期に関われるように、関係者とともに対応をしている。

(2) 第8期高齢者保健福祉計画策定のための在宅介護実態調査の実施について

- ・事務局より資料2に沿って説明。

質疑なし

(3) 認定者数等の進行管理（進捗状況）について

- ・事務局より資料3に沿って説明。

<質 疑>

委 員：資料 3 の計画の数値は、数値を変更しないでこのままでいくのか。

事務局：第 7 期計画の数値は変更しないが、なぜ増えたのか、なぜ減ったのかなど、毎年度の数値の変動から状況を分析し評価をすることが求められているので、数値の変動を第 8 期計画の策定に活かしていく予定で考えている。

委 員：人口推計などの基礎数値が変わった場合でも、修正はしないのか。

事務局：計画上の数値は修正しない。数値の推移の変動については、現状を把握し分析し委員会で協議していただくことで今後の計画策定に活かしていく。

委 員：高齢者数や認定者数が増えている理由は何かあるのか。

事務局：高齢者数は微増しているが概ね計画どおりである。認定者数は平成 30 年度中にオープンした有料老人ホームの施設があり、施設が増えることを見込んで数値を計画したが、計画値よりも微増しているので、状況の分析が必要であると感じている。

委 員：計画の数値の変動は、今後の予算や事業に関係していくのか。

事務局：計画によって 3 年間の推計値を見込んで予算計画を見出しているが、単年度予算については、直近の数値によって計算し要求している。

委 員：75 歳以上の高齢者が増えているが、保険料とどう関係してくるか。

事務局：介護保険料については中長期的な事業量の推計等から、保険料水準を見通しており、平成 37 年度は 7,000 円を見込んでいる。これからは、自立支援や重度化防止など介護予防の取組みに努めていく等、様々な方策により、保険料の上昇に抑制できればと考えている。

委 員：人口推計や高齢者数の推計等、計画に関する情報はどう周知しているか。

事務局：第 7 期計画は冊子を渡したり、ホームページで公表しています。

委 員：介護保険制度は、外国人であっても対象になるのか。

事務局：住民登録をしている外国人も対象であり、介護保険料を納めてもらっており、介護サービスが必要な方は認定を受けてサービスを利用している。

(4) 指定介護予防支援業務委託の承認について

- ・資料 2 に沿って事務局から説明。

質疑なし

上記について承認。

(5) その他

なし

3 閉会

- ・副委員長より閉会のあいさつ